

第1分科会

「社会を構成する一員として
地域で暮し続けるために」

～障害者支援施設からの提案～

平成27年6月30日
社会福祉法人豊徳会
本部統括施設長 芦馬謙二

地域社会の現状

- ◎ 都道府県・市町村による格差
- ◎ 高齢社会の現状
- ◎ 少子化社会の現状
- ◎ 限界集落の増加
- ◎ 低所得世帯・生活困窮者の増加
- ◎ 地域崩壊の現実

- ◎ 地域で暮らし続ける為に？

日本創成会議 人口減少問題検討分科会

2014/5 消滅可能性自治体 896団体

- 全国1800有る自治体(市町村)の内896自治体が将来消滅の可能性！！
- 2010年~2040年間に20歳~39歳女性が5割以上減少する市町村

● 福岡県 福智町 $\Delta 52.0\%$

群馬県	南牧村	$\Delta 89.9\%$
青森県	今別町	$\Delta 88.2\%$
北海道	奥尻町	$\Delta 86.7\%$
	木古内町	$\Delta 86.5\%$

今後の地域活性化

- ◎ 自助 ➡ 共助 ➡ 公助 ➡ 共助 ➡ ?
- ◎ 市町村事業（地域福祉計画）
- ◎ 市町村社協事業（地域福祉活動計画）
- ◎ 住民参画による事業策定・事業推進
- ◎ 一般企業福祉事業参入・社会貢献事業実施
- ◎ 社会福祉法人（事業所）は何を？
- ◎ 社会福祉事業の更なる充実

支援施設を地域の拠点に

- ◎ 支援施設（入所施設）も地域の一部
- ◎ 安心・安全を保障
- ◎ 施設内・事業所内の生活だけで？
- ◎ 地域ネットワークの拠点に
- ◎ 多彩な資源を地域に開放
- ◎ 地域と一体となった生活環境の提示

敷地内公園化

みろく園 千本ツツジ



敷地内公園化

展望台



敷地内公園化

桜



豊徳祭（社会福祉法人祭）



法人事業所紹介



家族会バザー



地域業者・ボランティアによるバザー



地域住民（学校、等）発表の機会に



大抽選会賞品展示 企業協賛



各事業所利用者の発表の場



生活基盤を一般社会へ

- ◎ 本人ではなく地域社会の障害除去
- ◎ 支援施設・職員はその地域社会に存在する障害を取り除く
- ◎ 本人家族への選択肢を準備
- ◎ 地域を障がい者に優しい社会へ再構築
- ◎ 市町村・社協、福祉計画・福祉活動計画に参画
- ◎ 法人・事業所が社会を構築する為のリーダーに

事業所・職員の役割

- ◎ 地域性を理解し段階的に社会の一員に
- ◎ 職員の意識改革
- ◎ 市町村障害福祉の現状把握
- ◎ 市町村障害福祉計画に参画
- ◎ 市町村障害福祉政策の専門家として地域リーダー

『福智町 人権と福祉のまちづくり総合計画』

『人権と福祉のまちづくり総合計画』

推進委員会活動内容

人権分野

- ・ 人権が守られる
まちづくり
- ・ 学校における人権教育
- ・ 行政関係及び各種団体
における人権教育部会
- ・ 地域における
人権教育部会

保健・福祉分野

- ・ 地域福祉部会
- ・ 子育て部会
- ・ 障がい(児)者 部会
- ・ 高齢者部会

ワーキング・ 専門委員会

- ・ 専門委員会
- ・ ワーキンググループ

各、分野・部会・委員会にて総合計画を推進

福智町社協地域福祉活動計画

- 人権と福祉意識を携えた人づくり
 - ・ 地域住民への福祉啓発
 - ・ 地域福祉リーダーの養成
 - ・ 福祉に携わる職員の意識改革
 - ・ その他 全9項目
- 地域における新たな支え合いのネットワーク作り
 - ・ 小地域での見守りネットワーク作り
 - ・ 緊急時・災害時での支援ネットワーク作り
 - ・ 関係機関・団体ネットワーク作り
 - ・ 地域交流の場づくり
 - ・ その他 全9項目
- 相談・情報提供を総合的に支援する仕組み作り
 - ・ 総合相談窓口によるワンストップサービスの実施
 - ・ その他 全5項目
- 生活ニーズに対応した福祉環境作り
 - ・ 保健・福祉の充実
 - ・ 地域福祉環境の整備
 - ・ その他 全6項目

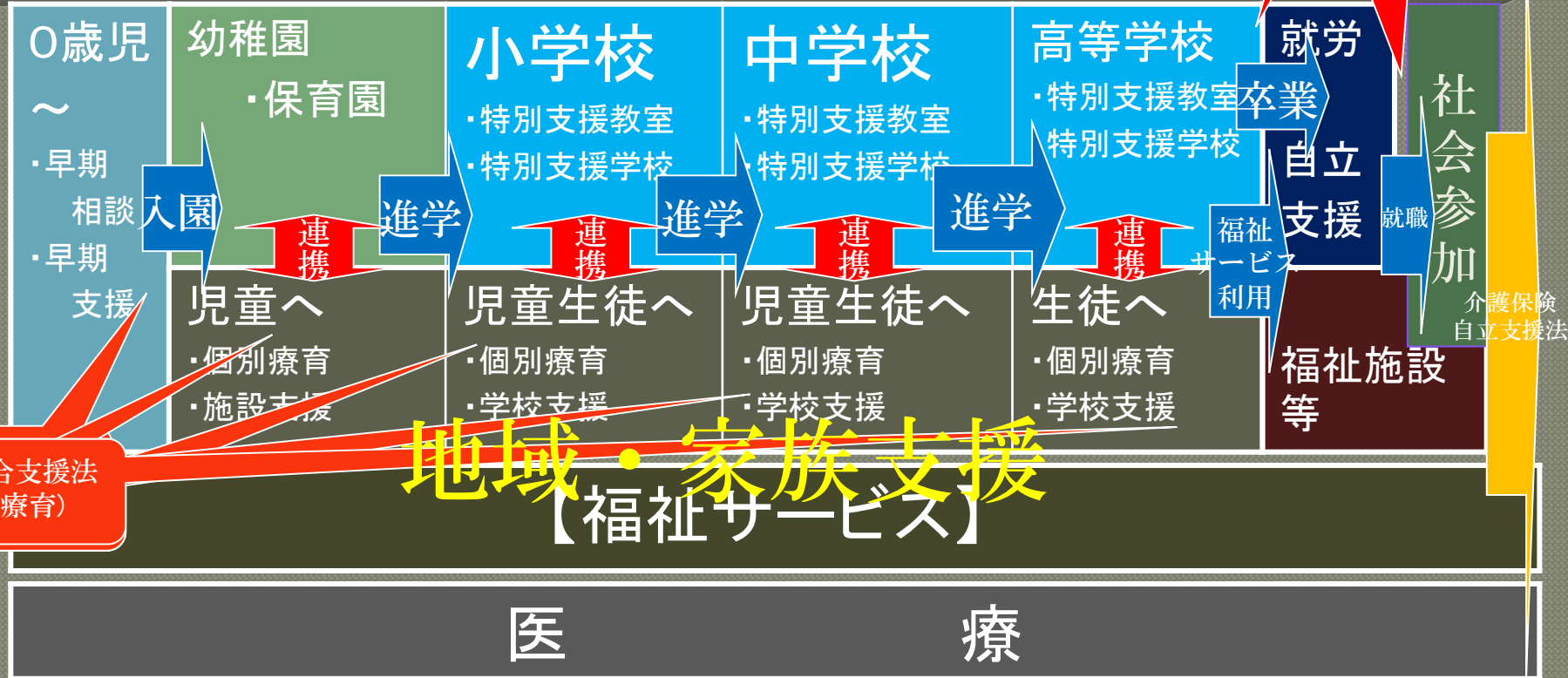
福智町において今後の地域支援の取り組み 人材育成支援事業

人材育成支援事業 地域の見守りや地域支援を行う人材育成

- 1 福祉委員・福祉協力員育成事業
- 2 認知症サポーター養成事業
- 3 災害時支援ボランティア育成事業
- 4 障がい児者支援協力員育成事業
- 5 子育て支援協力員育成事業

ライフステージに応じた支援

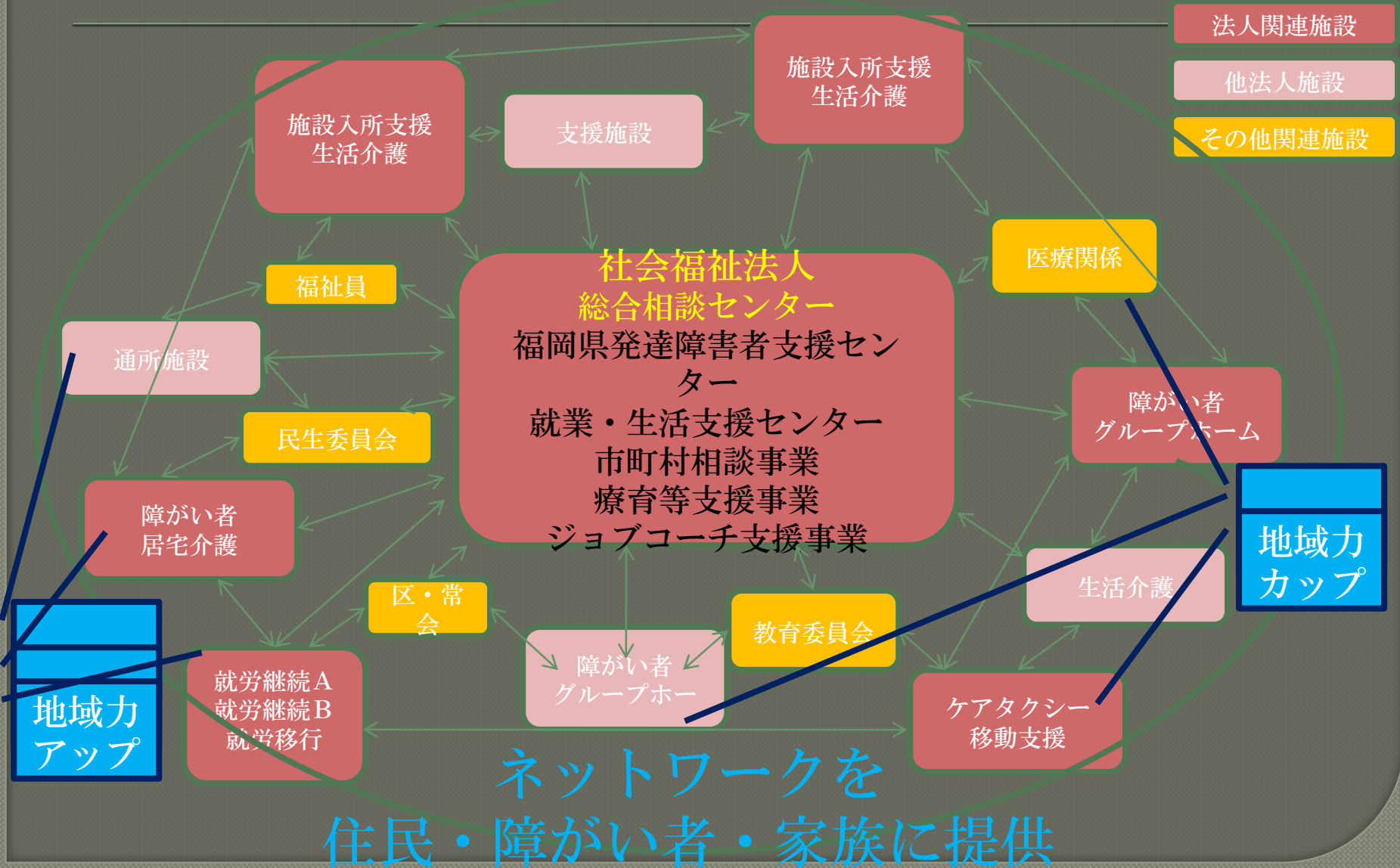
文部科学省【特別支援教育】



施設を生活基盤として

- ◎ 支援施設での社会の構成員として
- ◎ 施設を開放し施設自体の社会参加
- ◎ 法人資産・施設・設備・職員の社会参加
- ◎ 地域と一体的に運営、地域社会から活用
- ◎ 他事業所との連携
- ◎ 地域社会に対しての存在意義を追求
- ◎ 社会構成員としての障がい者をバックアップ
- ◎ 個々のネットワークの再構築へ

連携による地域支援ネットワークを構築



「社会を構成する一員として
地域で暮し続けるために」

ご清聴有難うございました。